



### 3人の宰相

令和7年5月3日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

吉田茂は、日本を与えた。岸信介は、未来を与えた。田中角栄は、国家を与えた。これらは正しい為政は必ず国家の利益を生むことを意味するものである。

為政は自己の判断を得るものである。それが現実を与えるのである。そしてそれが現実を行うのである。是非はそれに準ずるものである。

これらは政治が国家を産むことであり、それが未来を与えることを意味する。今日と比較してそれら現実が安易であった物であるという判断は正しく無い。

今日においても国家を求め未来を行うことは必ず可能なのである。これを他意における国家を行うことは国家を失うことであるという。

そして自己の選択における国家の育成はそれら宰相においても同じ現実が存在したのである。

これらは国策の制定は、必ずその自立と独立を基盤とするものであることの証明である。

これらは個人の気概が、未来を行う事ができるということなのである。それにおいて大を求めれば大となし、小を求めれば小となるのである。

これらは英断において国家をなすは、断行をもって国家の回復を得る事ができるのである。

これらは世界に敵し、正義を持って世界を抱く事である。これを英雄の志と言うのである。

その他においては、現実に従属しその永遠を与えられるのみである。

ゆえに男子は常にこれを行うのである。

そしてそれが世界をなすものである。英雄は常に世界を有するの例えである。